

神田警察通り賑わい社会実験2016 実施報告

平成25年3月、本協議会での検討を踏まえ、『神田警察通り沿道賑わいガイドライン』を策定、そのガイドラインの5つのまちづくり方針の実現に向け、昨年度より「神田警察通り賑わい社会実験」を行っています。

昨年11月に行った「神田警察通り賑わい社会実験2016」では、人々の流れ・行動に着目し、社会実験・ワークショップ・行動調査を行いました。また、その実験結果についての報告会を今年3月に実施、地域の方々にお越し頂き結果報告・意見交換を行いました。

[神田警察通り賑わいガイドライン まちづくり方針（H25.3）]

① 神田警察通りを自動車中心から人と賑わい中心の道路へと転換する

- ・緑豊かで、歩行者や自転車などが安全に居心地よく移動できる環境を整備する
- ・まちを彩る地域活動や文化が花開く舞台として通りを活用する

質の高いまちの骨格をつくる

② 神田警察通り周辺の多様な賑わいをつなげる回遊動線を強化する

- ・周辺の境界とまちをつなぐ南北方向の歩行空間と結節点を形成する
- ・回遊動線沿いに人の流れを呼び込む賑わい機能や多彩な緑などを導入する

多様な“神田”の相乗効果と呼ぶ

③ 神田警察通り沿道に人を惹きつけ波及効果をもたらす拠点を整備する

- ・訪れたい魅力に富んだ都市空間や都市機能、都市文化の創出を先導する
- ・質の高い空間を活かした魅力的なイベント等を導入する
- ・環境・情報・防災等の性能を高めるまちづくりを展開する

まちの価値形成を先導する

④ 神田警察通り沿道の特色を活かした魅力ある市街地を形成する

- ・異なる歴史や魅力を持つ沿道の特色を活かした空間形成・機能導入を推進する

沿道の特色を活かしたまちを作る

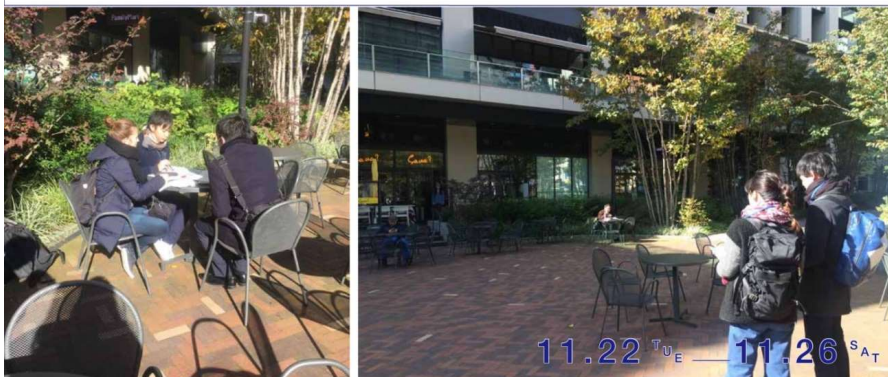
⑤ 神田警察通りを軸として多様なまちづくり活動を喚起し連携する

- ・まちの価値を高めるイベントや積極的な情報発信を常に展開する
- ・多様なまちづくり活動を連携し支える仕組みを構築する

エリアマネジメントの構築へ繋げる

行動調査

この社会実験のために来日したゲールアーキテツ（「人間中心のまちづくり」を提唱）・デイビッド氏、エヴィ氏とともに、このエリアを普段使う人々の行動調査を行いました。歩行者や自転車、車の量のほか、神田公園や広場で行動観察し、朝・昼・夜の変化を調べました。



ミニ社会実験 & オープンワークショップ

神田警察通りの車道の一部に設置したフリースペースを、来場した約 200 名の方に体験してもらいました。その中で、「このエリアのお気に入りの場所」へのシール投票や、国内外のたくさんの事例写真を選んでいただきながら「神田にこんな場所があったらいいな」を聞きました。



[神田警察通り賑わい社会実験2016報告会（2017/3、共立女子大学にて）]



神田警察通り賑わい社会実験2017の実施について

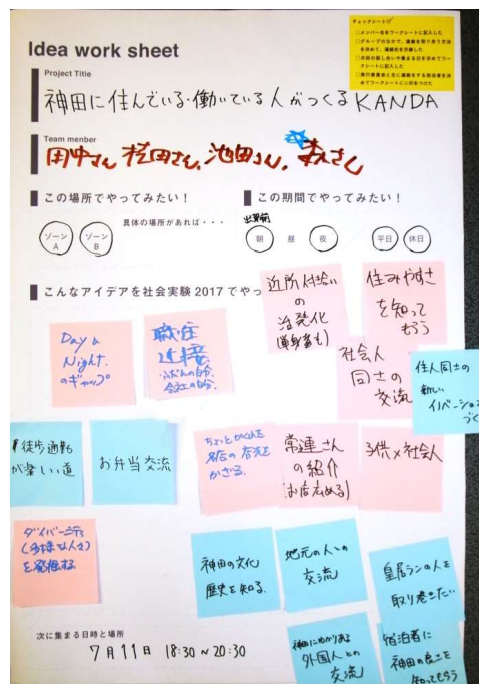
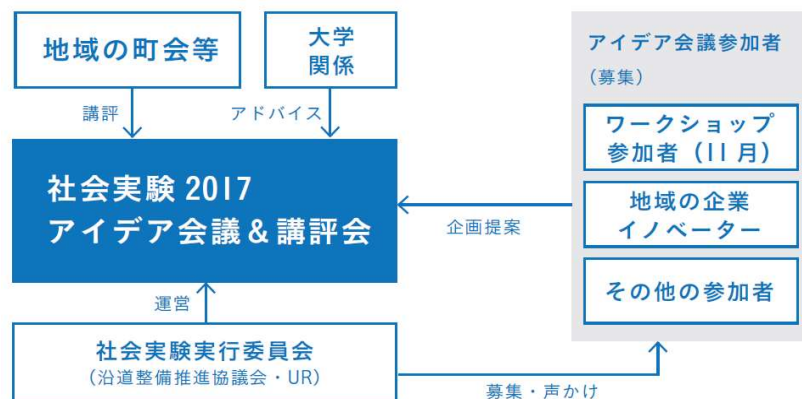
社会実験2017の取組みとしては、昨年より広がりを持たせて、歩行者が少なかったエリアや休日における街の賑わいについて、アイデアを出し合ったり、まちの方の意見をお聞きしながら、賑わいづくりにチャレンジしていきます。

企画については、神田のまちづくりに関心のある方にアイデア募集を行い、そのアイデアに対し地域の方々からご意見を頂くとともに、参加企業の協力を得て実施します。

6/27に行ったアイデア会議では、全体で83名の参加があり、様々なアイデアが出されました。現在行っているチームミーティングでアイデアをより具現化し、7/30に行うアイデア講評会にて地域の方々にアドバイスを頂くことを考えています。その後、制作・調整期間を経て、10月下旬(10/23(月)～10/28(土))を予定)の社会実験実施に向けて取組みます。

[チームミーティングの様子]

[体制図]



[スケジュール]



10/23(月)～10/28(土)
を予定

